

登壇企業一覧

会社名	登壇者	事業内容	会社 HP
<p>Atlas Direction(株)</p>  <p>AtlasDirection</p>	<p>代表取締役 沖本 泰孝氏</p> 	<p><会社紹介> 自動車部品メーカーから 2020 年に分社独立し、2020 年11月に Atlas Direction 設立。以降、遠隔支援・遠隔臨場サービスの開発から販売運営までを行っている。大手メーカーから官庁、自治体まで幅広い活用実績がある。</p> <p><登壇者紹介> 福岡工業大学(入学)より編入学、近畿大学(卒業)。大学卒業研究にて人工知能(NN)をモデルにデモプログラム開発を行い、学部賞を受賞。就職後は13年間に渡りPG(2年)、SE(11年)として官公庁や民間企業向けの大規模システムや大手通信キャリアの基幹システムなど開発経験を積む。2016年に自動車部品メーカーへ転職後、役員としてIT部門立上げを行う。多業種の実務経験を活かして2020年に Atlas Direction を設立。</p>	
<p>(株)アポロジャパン</p> 	<p>代表取締役 岸上 郁子氏</p> 	<p><会社紹介> 2005年3月に設立。現在、北九州市に本社を置く。事業の柱は、見えないコード「スクリーンコード」と今回ご紹介するSDL(Self-discipline learning)である。SDLは、従来の AI と違ったアプローチにより、確率モデルを取込み、画像認識をすることで従来よりも少ないデータにより正確な解を導くため、低コストでの自動運転を実現することが可能になる。いずれの事業も特許を主体とし、特許戦略ライセンスビジネスを目指している。</p> <p><登壇者紹介> 活水女子大学日本文学科卒、福岡県立高校国語科常勤講師、台湾 YMCA 日本語教師などを経て2005年株式会社アポロジャパンを設立し、取締役就任。2017年に同社代表取締役に就任。自社特許技術を用いた、新しいビジネスに挑戦し続け、ビジネスプランのコンテストでは EGG ジャパンでのコンテストでシリコンバレーでのピッチや2023年にはラスベガスでの CES にもスタートアップとして出展を果たす。現在は中国と日本で自動運転に取り組んでいる。</p>	
<p>(株)リョーワ</p> 	<p>R-VISION 事業部 事業部長 津田 貴史氏</p> 	<p><会社紹介> 油圧機器の修理・総合メンテナンス、配管工事、油圧ユニットの設計製作を主軸に、AI 外観検査や画像処理など先端技術の開発・提供を行う技術系企業である。</p> <p><登壇者紹介> AI エンジニアで、産業用画像処理・外観検査を軸に 30 年以上の技術経験を有する。株式会社リョーワで AI×メンテナンス、Clavi 系リモート保守システムや LLM を活用した保全支援の開発を主導し、複数の AI 関連特許と NEDO 採択実績、ドコモアワード受賞を持ち、現場課題の自動化・DX 推進による生産性向上と事業成長を目指す実践型リーダーである。半導体検査装置の設計開発や Cognex VisionPro DL 導入の実績があり、技術と事業化をつなぐプロジェクト推進力に強みがある。</p>	

会社名	登壇者	事業内容	会社HP
(株)スカイディスク 	代表取締役 内村 安里氏 	<p><会社紹介> 製造業向け AI×SaaS 生産計画自動立案システム「最適ワークス」を開発・提供している。2013 年の創業以来、製造業を中心に多数の DX プロジェクトに取り組んできた。そこで得た知見・ノウハウをサービス・プロダクトとして世の中に還元することが私たちの使命だと考えている。「ものづくりを、もっとクリエイティブに」をミッションに、人が人にしかできない創造的な仕事に打ち込む世界の実現に向けて、AI を活用した DX 支援にチャレンジしていく。</p> <p><登壇者紹介> 大学卒業後、ベンチャー企業を経て2003 年より株式会社ディー・エヌ・エーへ。EC コンサルティング部門マネージャー、モバイル広告事業立ち上げ、広告営業部門マネージャー、マーケティング・広告宣伝部門マネージャー等を歴任し、2011 年末に独立。独立後はゲーム開発会社、家電メーカー、プロスポーツクラブ等、様々な業種の事業立ち上げを支援。2019 年 12 月、株式会社スカイディスク 代表取締役に就任。</p>	
(株)Fusic 	事業本部 事業推進部門 コンサルタント パク ヨンジン氏 	<p><会社紹介> 株式会社 Fusic は、クラウド・AI を軸に多様な IT 技術を組み合わせ、お客様の課題解決に貢献している。宇宙関連企業に向けた開発支援など、宇宙ビジネスにも注力。ブランドスローガンに「OSEKKAI×TECHNOLOGY」を掲げ、お客さまのご要望に向き合い、伴走しながら、期待を超える価値をお届けすることを大切にしている。</p> <p><登壇者紹介> 韓国の電子部品メーカーでの海外営業を経て、現在は福岡の IT 企業・株式会社 Fusic にて、クラウド領域を中心に営業とコンサルティングを担当。非エンジニアの顧客にも技術の価値が伝わる提案づくりを得意とし、自動車業界を含め、業界を問わず顧客の課題解決や DX 推進を支援中。</p>	
Kinto テクノロジーズ(株) 	開発支援部 副部長・Fukuoka Tech Lab 拠点長 新田 洋平氏 	<p><会社紹介> KINTO テクノロジーズ株式会社は、トヨタグループ各社が展開するモビリティサービスやビジネスをテクノロジーで支援するために、2021 年 4 月に創設されたテックカンパニーである。トヨタグループ内でも唯一の「BtoC・DtoC 領域に特化した内製開発組織」であり、世界 30 カ国で展開するグローバルモビリティブランド『KINTO』関連プロダクトや、マルチモーダルモビリティサービス『my route』など、「クルマに乗る人」に焦点を当てた新しいサービスの開発・運用を全面的に行っている。</p> <p><登壇者紹介> 東京で化粧品クチコミの事業会社など複数のネットサービス事業会社での勤務を経験後に2012 年 3 月に家族で福岡へ移住しモバイルゲームの開発に従事。2014 年コミュニケーションアプリの事業会社に入社後すぐに HR サービスの立ち上げにバックエンドエンジニア兼テックリードとして参加。その後マネージャーから開発組織統括まで歴任。2025 年 7 月、福岡開発拠点開所に向けて KINTO テクノロジーズ株式会社に入社。</p>	